

IOSCO は ESG 格付け及びデータ商品提供者の監督を要請

証券監督者国際機構（IOSCO）の代表理事会は、本日、ESG 評価及びデータ商品提供者に適用される一連の提言を公表した。

IOSCO の議長であり、香港証券先物委員会（SFC）の CEO である Ashley Alder は、次のように述べている。

「ESG 格付け及び第三者のデータ製品は、特に一貫性のある比較可能な情報開示がないこれまでの ESG エコシステムにおいて、重要な役割を果たしてきた。その重要性と有用性は、資本市場がネット・ゼロ・エコノミーへの移行を支援する取り組みを強化する中で、今後も継続されるだろう。これが、IOSCO がこの作業を行った理由である。」

ESG 格付け及びデータの市場は、企業レベルでの一貫した情報開示が不足していることもあり、ここ数年で成長してきた。この市場は通常、証券規制当局の管轄外であるため、IOSCO は、規制当局がそれぞれの管轄区域における ESG 格付け及びデータ商品の利用や ESG 格付け及びデータ商品の提供者の活動により注意を払うことを検討してはどうかと提案している。これにより、今後、ESG 評価やデータに対する信頼を高めることができるだろう。

IOSCO はまた、規制当局がフレームワークを構築する際に考慮すべき点について、具体的な提言を行っている。これらの提言は、IOSCO 会員がこの新しい市場をナビゲートする際に役立つ、より具体的なガイダンスによって裏付けられている。

提言には、利益相反を管理するための手順が適切であることを確認すること、提供者と ESG 格付けやデータ商品の対象となる企業との間のコミュニケーションチャンネルを、その公平性を損なうことなく改善すること、といった ESG 格付け及びデータ商品提供者が商品開発に使用している手法の透明性を高めることが含まれている。

IOSCO サステナブルファイナンス・タスクフォースの議長であり、スウェーデン金融監督庁長官である Erik Thedéen は、次のように述べている。

「この報告書は、ESG 市場の発展における重要なマイルストーンとなる。投資家は、自らが利用する ESG 格付け及びデータ商品を理解し、信頼しなければならない。IOSCO の提言を実施することが、その成果の達成に役立つであろう。」

(Notes to the Editor は省略)

(以上)